

田川東中の全景。中央奥が校舎、同右が体育館。右下はテニスコート



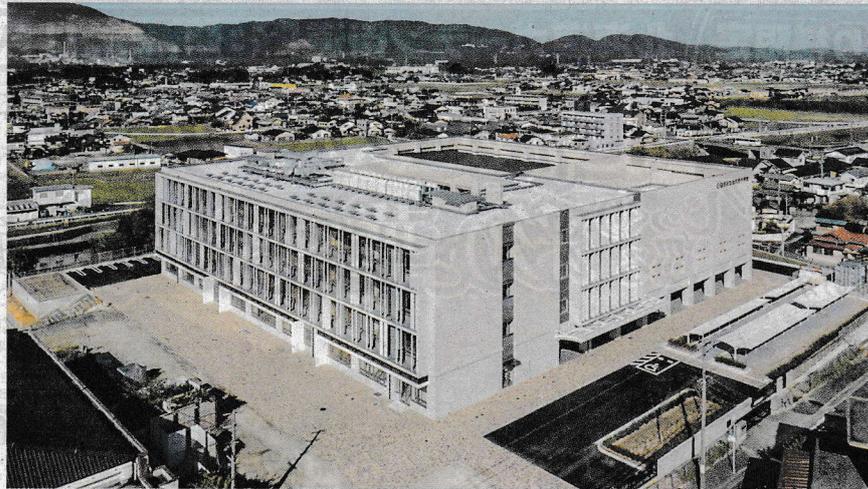
田川東中

田川市教委は14日、市内の全7中学校(小中一貫の猪位金学園除く)を再編し、4月に開校する田川東中と田川西中の新校舎を報道陣に公開した。採光が良い明るい校舎で全室冷暖房を備え、体育館とは別に武道場、災害時の食料などを備蓄する倉庫がある。両校とも3月12日に一般向け内覧会を開き、4月8日に開校式がある。

【荒木俊雄】

ともに全室冷暖房 災害時の備蓄倉庫完備

報道陣に新校舎公開



体育館と一体となった田川西中の新校舎。旧体育館(手前左)は年内に解体され、跡地はグラウンドになる—いずれも田川市教委提供

田川西中

田川東中(開校時の生徒数約600人)は伊田、金川、中央、鎮西の4校を統合し、伊田中跡地に開校。敷地面積は約4万

「ラーニングセンター」や給食調理室も 4月8日開校

える。総事業費は56億5000万円。

田川西中(開校時の生徒数約500人)は後藤寺、弓削田、田川の3校を統合し、後藤寺中跡地に開校。敷地面積は約3万平方メートルで、鉄筋コンクリート一部鉄骨造りの4階建て校舎(延べ床面積1万1502平方メートル)は体育館を内包する。グラウンドは、敷地内の仮設校舎と旧体育館を解体して整備し、2024年3月から使用する。総事業費は51億5000万円。

両校とも図書室やパソコン教室、教師の待機場所などを整備した「ラーニングセンター」や給食調理室などを備える。プールは維持管理の負担などを理由に造らず、近隣の屋内施設を使う。

今回の再編で7中学の学級数は1学年1、2学級から田川東中は5、6学級、田川西中は4、5学級に増え、部活動も充実させる。全生徒の約4割がスクールバスを使う予定という。